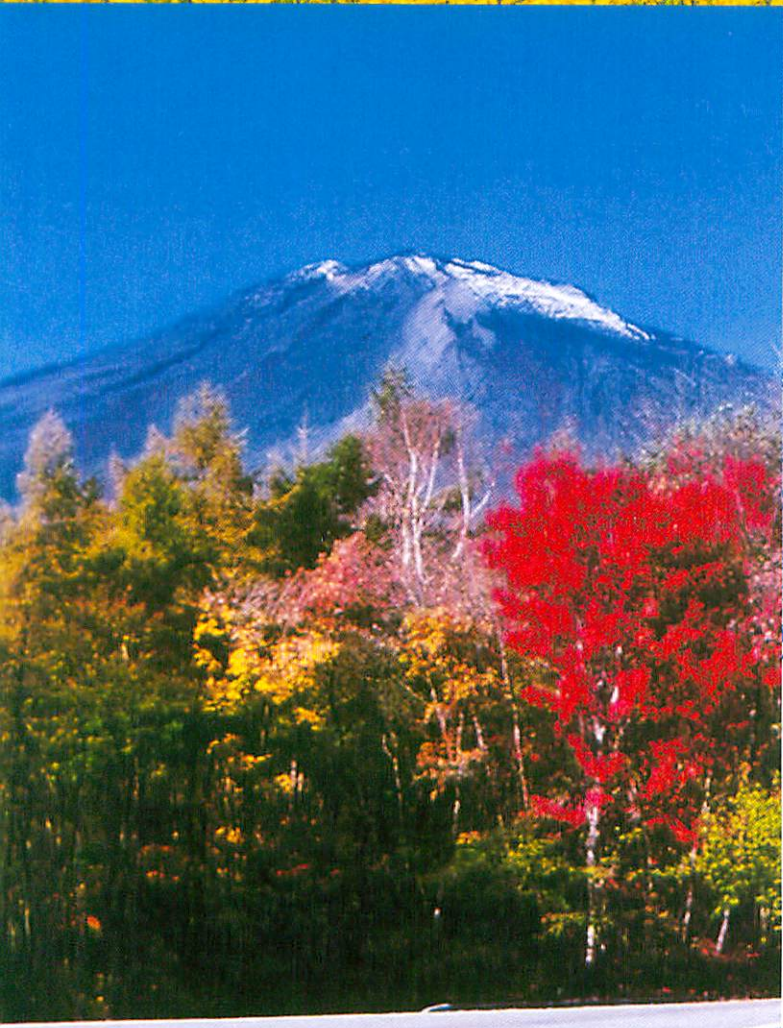


富士のあるまち



2011 小山町

富士のあるまち

この“富士のあるまち”には、みなさんの住んでいる町のことが
かいてあります。

みなさんの知らなかった町のことがたくさん出てくると思います。

「小山町」のことをたくさん知ってください。

平成23年4月

小 山 町

■ ■ ■ も く じ ■ ■ ■

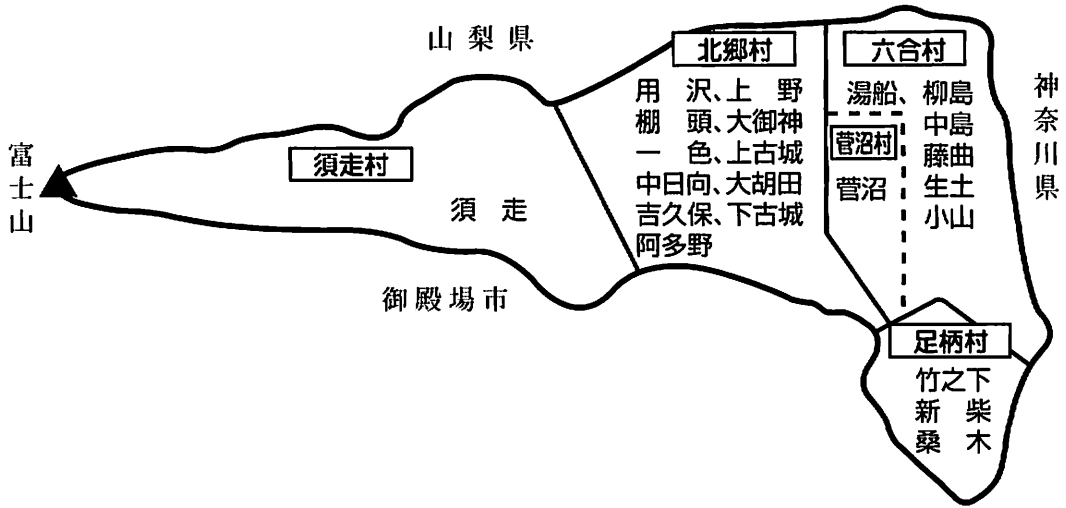
[1]	町のあゆみ	1
[2]	町の位置 ^{いち}	2
[3]	町のようす (観光 ^{かんこう} あんない)	4
[4]	町の人口 (人口のうつりかわり)	6
[5]	産業 ^{さんぎょう} (仕事の種類 ^{しゅるい} 、よその町へ仕事に行く人、小山町へ仕事にくる人、農業、 林業、工場、商店)	7
[6]	観光、文化財 ^{かんこう ぶんかざい} (富士山 ^{ふじさん} 、金時山 ^{きんときやま} 、足柄峠 ^{あしがらとうげ} 、富士スピードウェイ ^{ふじれいえん} 、富士霊園、道の駅 ^{みちのえき} 、 温泉 ^{おんせん} 、イベント、文化財)	11
[7]	治安 (警察 ^{ちあん} 、交通事故 ^{けいさつ} 、犯罪 ^{ざい} 、消防署 ^{じこ} 、消防団 ^{はんざい} 、火災 ^{しょうぼうしょ})	13
[8]	保健衛生 ^{ほけんえいせい} (保健センター ^{よぼうせつしゆ} 、予防接種 ^{じこ} 、健康診断 ^{ほんざい} 、医療費助成 ^{しょうぼうしょ} 、公害 ^{だん} 、 ごみ、し尿処理 ^{かさい})	15
[9]	くらしをとりまくもの (用途地域 ^{ようとちいき} 、道路 ^{じゅうたく} 、電気 ^{でんき} 、住宅 ^{じゅうたく} 、水道 ^{すいどう} 、下水道 ^{げんじょう} 、鉄道 ^{てつどう} 、バス ^{ばす} 、郵便 ^{ゆうびん} 、 自動車)	16
[10]	教育・文化 (園児 ^{えんじ} ・児童 ^{じどう} ・生徒数 ^{せいとすう} 、総合文化会館 ^{そうごうぶんかかいかん} 、図書館 ^{としょかん} 、総合体育館 ^{たいいくかん} 、多目的広場 ^{たもくてきひろば} 、 弓道場 ^{おやまさゆうじょう} 、小山球場 ^{やかんしゅうめい} 、夜間照明施設 ^{しせつ} 、町民プール、パークゴルフ場)	19
[11]	福祉 (健康福祉会館 ^{ふくし} 、保育園 ^{けんこう} 、福祉の施設 ^{ほいくえん} 、社会福祉協議会 ^{きょうぎ})	21
[12]	町のしくみと仕事 (町長 ^{ちやうちやう} 、職員 ^{しよくいん} 、議会 ^{ぎかい} 、町の仕事)	22
[13]	予算 (平成23年度) 町のしくみ (役場の体系 ^{たいけい})	23 26

1 町のあゆみ ▶▶▶▶

小山町には、一体いつごろから人が住んでいたのでしょうか？ 現在までの発掘調査によると、およそ7000年前の縄文時代早期にさかのぼります。狩りをしたり、木の実をとったりして生活していました。町には、弥生時代、古墳時代、奈良時代、平安時代の遺跡がみつかっていて、人々が住んでいたことがわかります。

また、古くから西と東を結ぶとても重要な道が足柄峠を越えていました。古代、この地は駿河国鮎沢庄御厨郷と呼ばれていました。中世になると竹之下の合戦があったり、足柄城などが築かれたり、歴史上有名なできごとがありました。江戸時代には、多くの村々が小田原藩領に属していました。宝永4年（1707）の富士山の噴火によって小山町域はとても大きな被害を受け、復興にむけて努力しました。

明治22年に六合村、菅沼村、足柄村、北郷村、須走村ができました。その後、大正元年8月1日に六合村と菅沼村がいっしょになって、「小山町」ができました。昭和30年4月1日に足柄村と、昭和31年8月1日に北郷村と、同じ年の9月30日に須走村といっしょになって、今の小山町になりました。



メモ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

2 町の位置 ▶▶▶▶

●広 さ●

小山町は、静岡県か ながわけんの北東やまなしにあつて神奈川県・山梨県ととなりあつています。富士山・丹沢山系たんざわさんけい・金時山きんときやまなどに囲まれ、町の広さは、136.13平方キロメートルです。

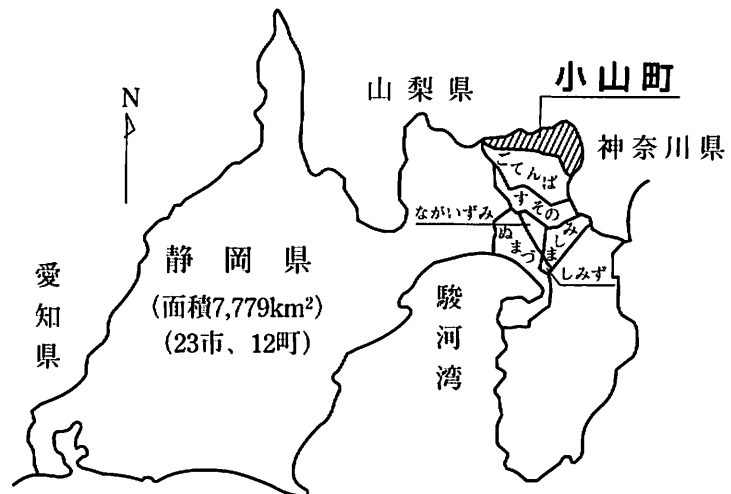
●高 さ●

海拔（海からの高さ）をみると、一番高いところはもちろん富士山ちようじようの頂上で、3,776メートルです。一番低いところは神奈川県との境にある鮎沢橋あゆざわばしのところで225メートルです。

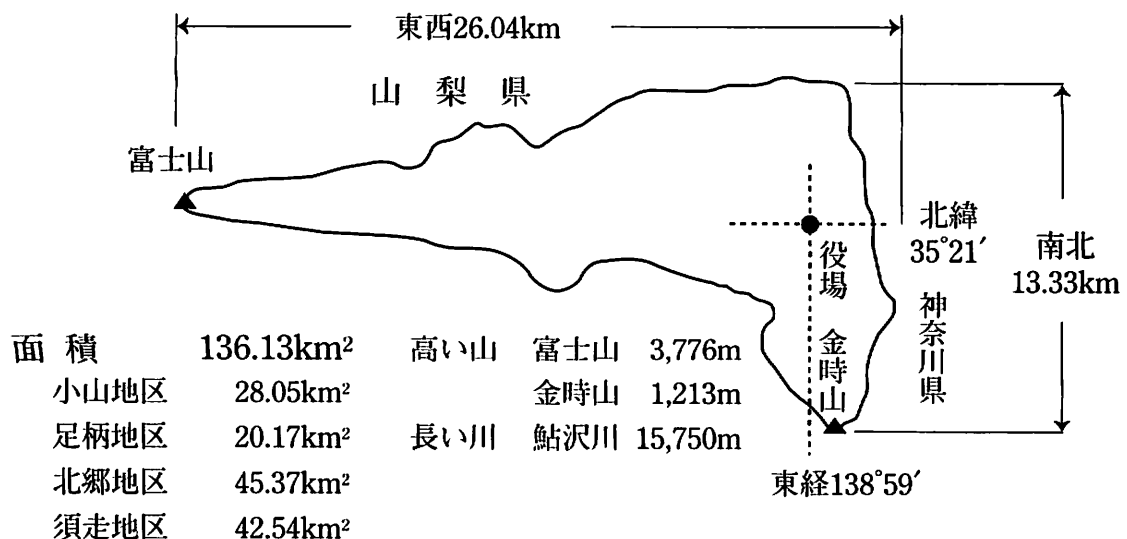
●人の住んでいるところ●

小山町めんせきは面積のほとんどが山で、人の住んでいるところは1割ぐらゐです。人が多く住んでいるところは、海拔240メートルから800メートルの間です。

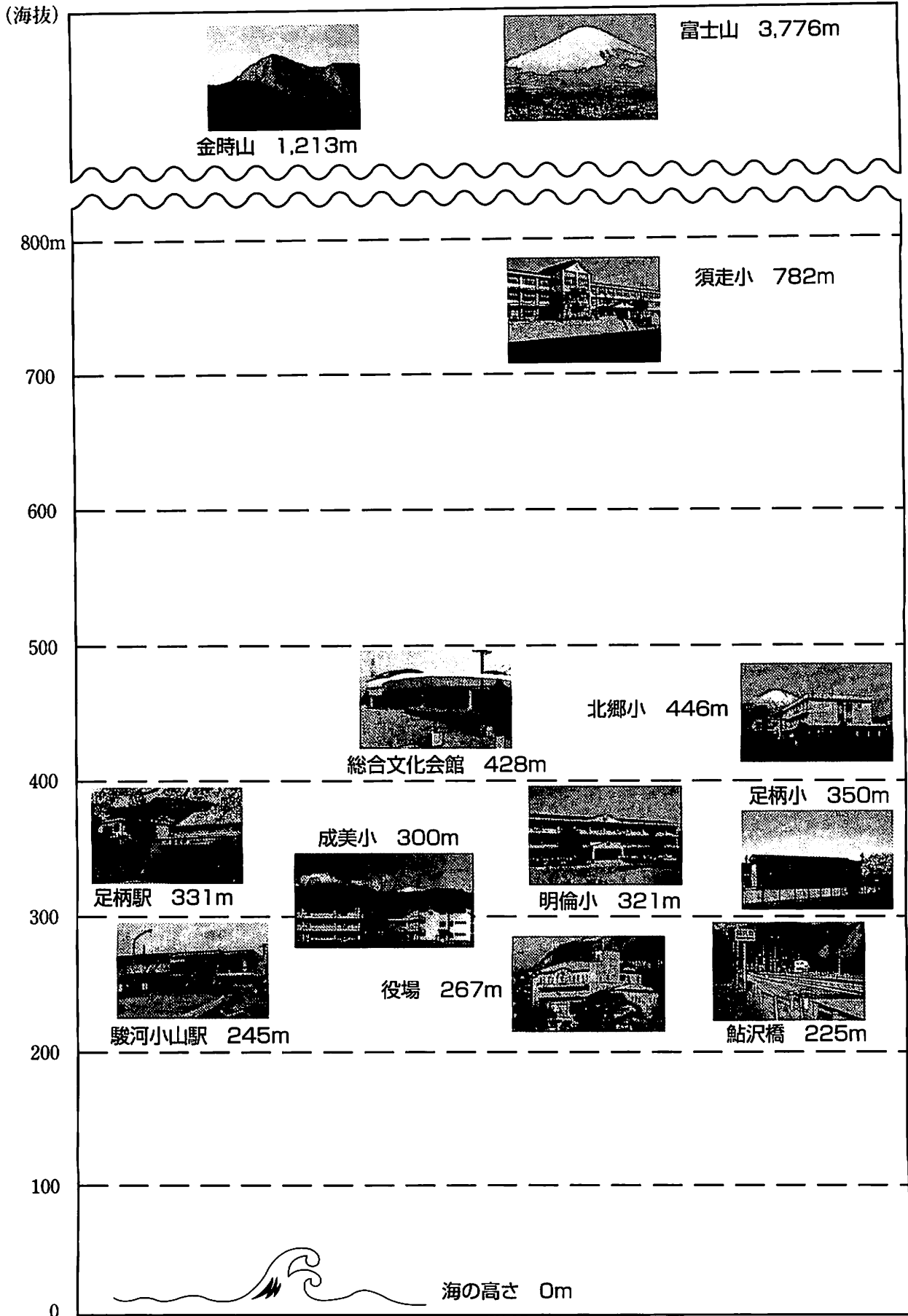
県道沼津小山線けんどうぬまつ、国道246号こくどう、国道138号のまわりに、たくさんの人たちが、生活しています。



(平成22年3月31日現在)

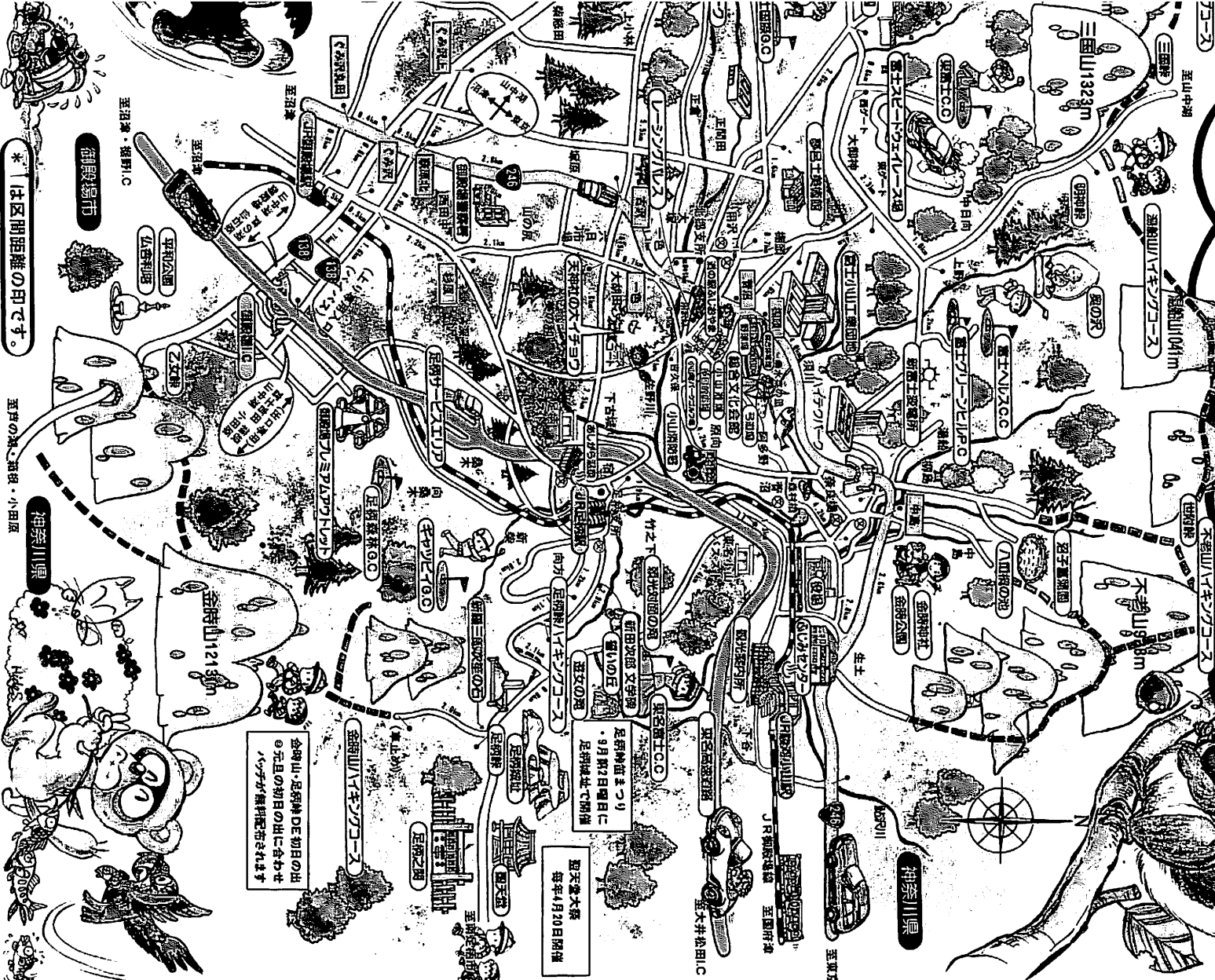


●高さくらべ●



おんた おやま 2ツツ

おんたのおやま 2ツツ
OYAMA SIGHTSEEING MAP



相模川県

聖天堂大祭
毎年4月20日開催

金峰山・足利神社の初日の出
●元旦の初日の出に合わせ
パワチが無料配布されます

* 1 は区間距離の印です。

相模川県

4 町の人口 ▶▶▶▶

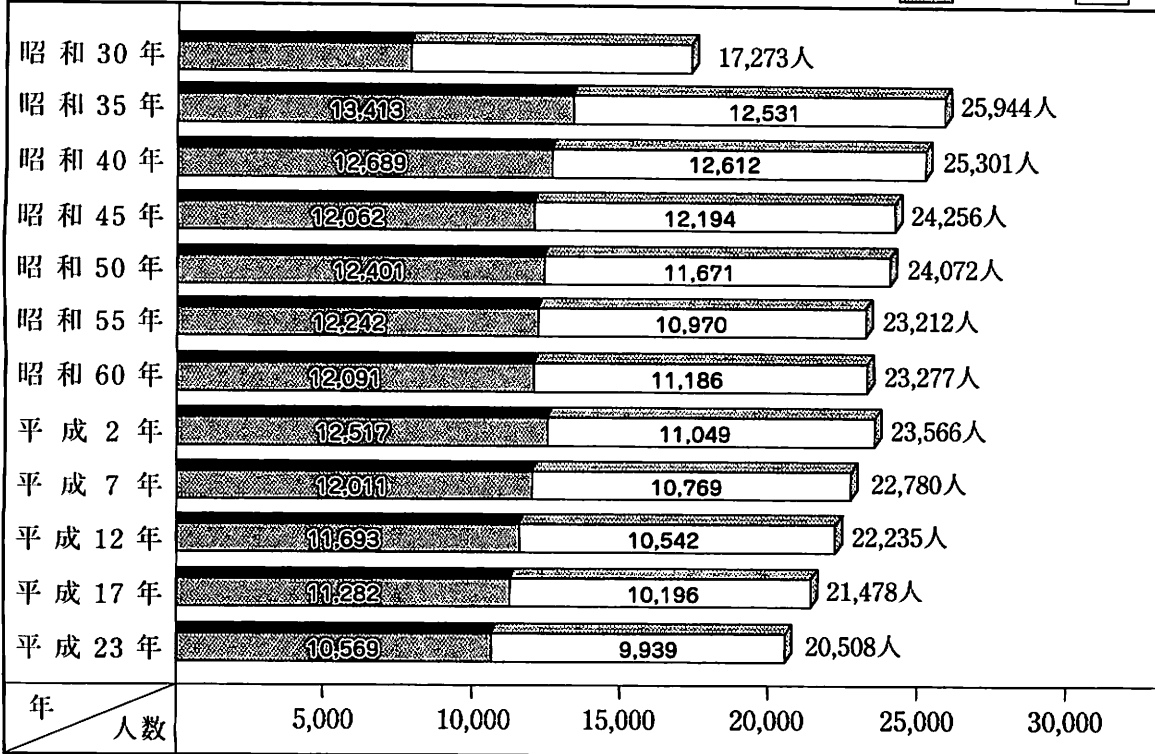
●人口●

町の人口は平成23年3月1日現在、男10,569人・女9,939人で、合わせて20,508人です。世帯数は、7,495世帯です。

昔の人口とくらべるとつぎのようになります。(各年10月1日現在:国勢調査)





人口のうつりかわり

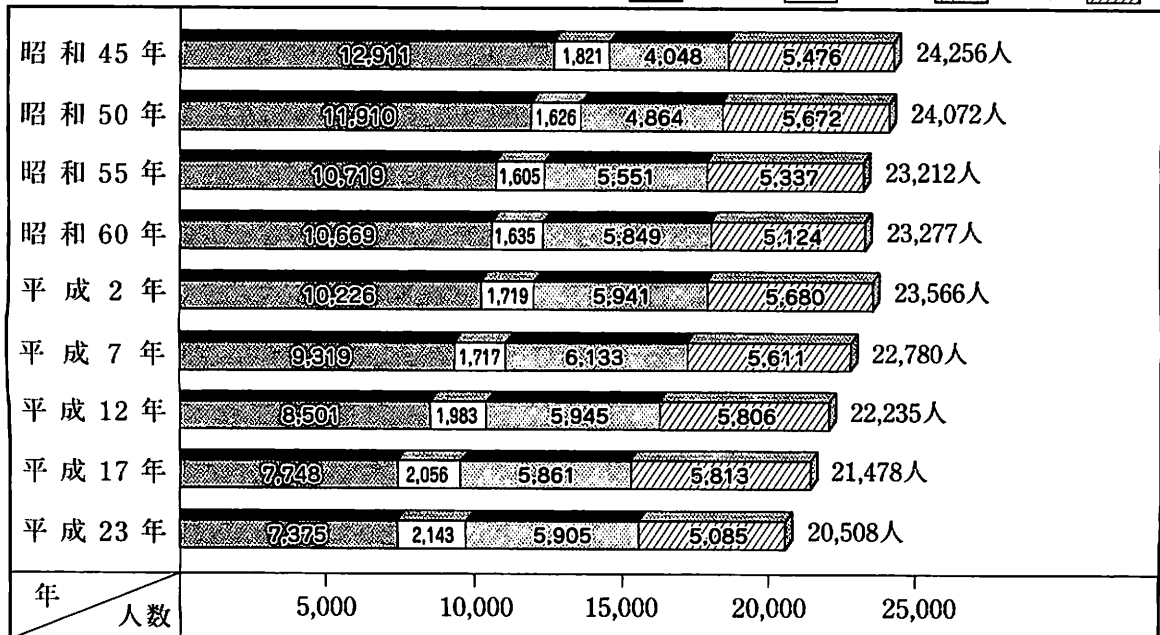
男性=  女性= 



※平成23年は3月1日現在

地区人口のうつりかわり

小山=  足柄=  北郷=  須走= 



※平成23年は3月1日現在

5

産

業

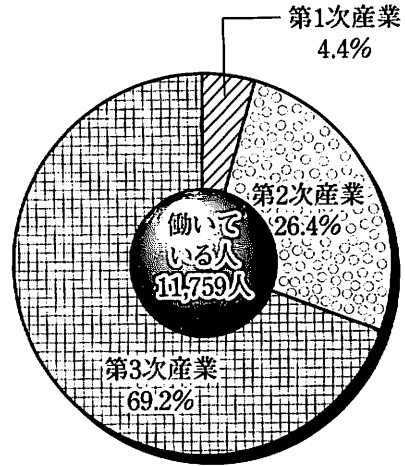
町の人びとの仕事

町に住む人の仕事には、農家の仕事、工場
の仕事、商店の仕事など、いろいろな仕
事があります。

町内で働いている人は、およそ11,759人
です。

どんな仕事をしているのかを仕事の種類
によって3つに分けてみると、つぎのよう
になります。

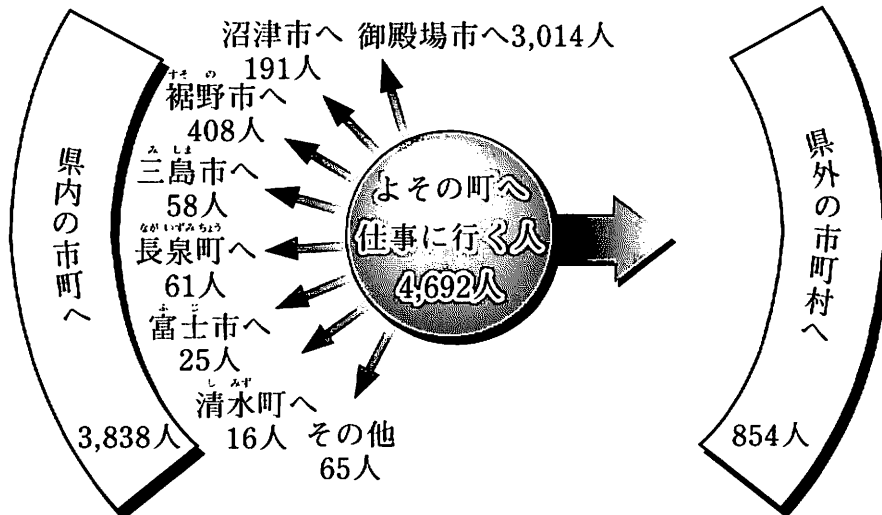
(平成17年国勢調査)



産業別	人数	1,000	2,000	3,000	4,000	(人)
第1次産業 520人	農業	507				
	林業	7				
	水産業	6				
第2次産業 3,108人	鉱業	7				
	建設業	647				
第3次産業 8,131人	製造業	2,454				
	卸・小売業	1,376				
	金融・保険業	137				
	不動産業	88				
	運輸・通信業	575				
	電気・ガス・水道業	31				
	サービス業	4,162				
	公務員	1,762				

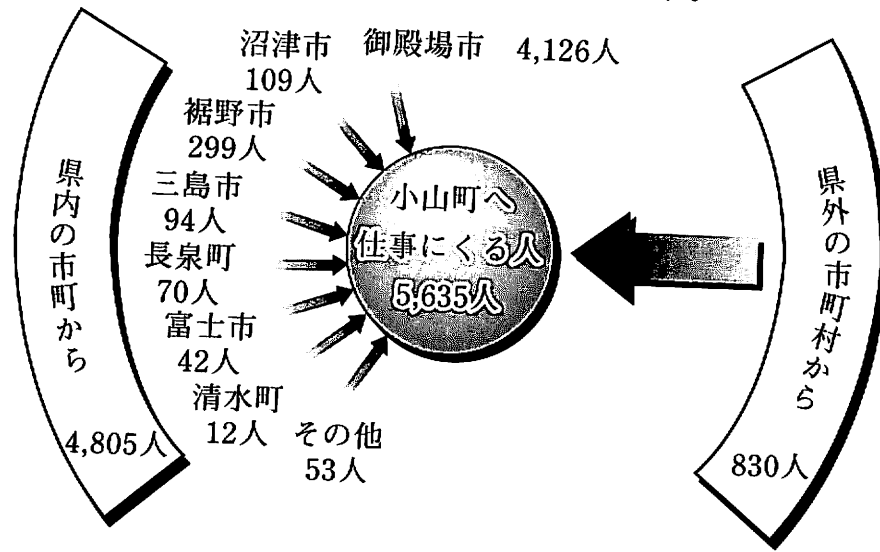
●よその町へ仕事に行く人● (平成17年国勢調査)

小山町から、となりの御殿場市や沼津市などへも仕事に行く人がいます。



●小山町へ仕事にくる人● (平成17年国勢調査)

よその町からも、小山町へ仕事にくる人がたくさんいます。

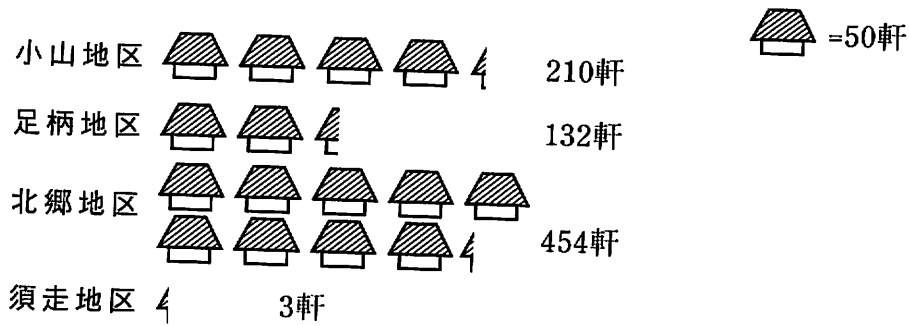


●農 業●

農家の仕事

町では、米、豆、野菜、花など、いろいろな農産物のうさんぶつが生産されています。
町内で農業おこなを行っている家は、799軒ありますが、このうちほとんどの人が、「ほかに仕事を持っているが、農業けんもしている」という人です。農業だけをしている家は29軒です。(2005年農業センサス)

[農家の数]



町にある田んぼ、畑じゆえんち・樹園地は、つぎのとおりです。(販売農家)

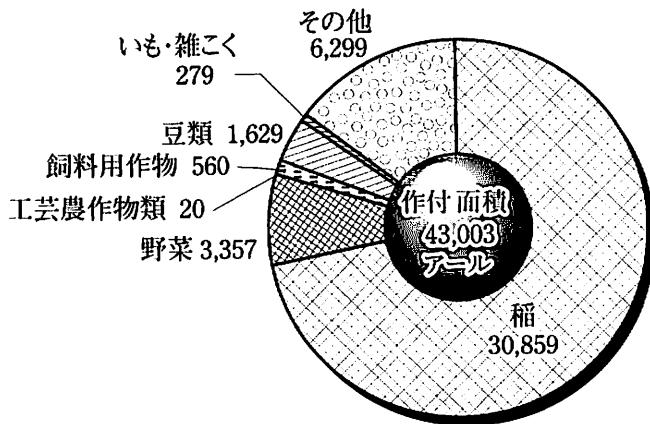
- ・田んぼ 40,869アール
- ・畑 4,212アール
- ・樹園地 902アール

[田畑などの分布]

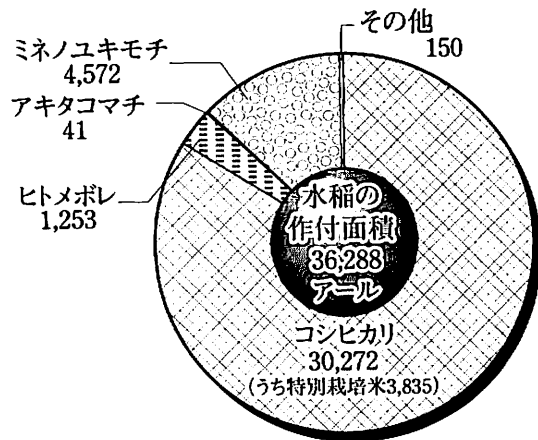
地区	田んぼ	畑	樹園地	計
小山地区	4,658	694	275	5,627
足柄地区	3,674	952	198	4,824
北郷地区	32,537	2,566	429	35,532
須走地区	0	0	0	0
計	40,869	4,212	902	45,983

単位=アール

とくづけめんせき
〔作物の作付面積〕（販売農家）



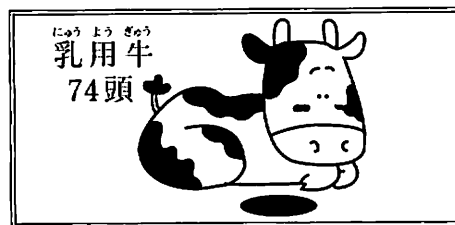
すいとろ
〔水稻の作付面積〕（全農家）



（平成22年水稻作付実績より）

● 畜産 ●

しいく
〔飼育している牛の数〕



● 林業 ●

木を育てる仕事

町の林野面積は8,768ヘクタールです。このうち2,775ヘクタールが国有林、1,864ヘクタールが公有林、4,129ヘクタールが私有林です。（第56次 静岡農林水産統計年報）

● 事業所 ●

会社・工場

町には機械、電気機械、金属、木工などの製品を作っている事業所（工場）があります。事業所（従業員4人以上の製造業）の数は55で、ここで仕事をしている人は、2,782人です。

製造品出荷額はおおよそ1,511億円です。（平成21年工業統計）

じゅうぎょうしやそう
〔主な事業所の数と従業者数〕

事業所	従業者
4 工場アイコン =1	428 人 (人アイコン) =100人
4 工場アイコン	91 人 (人アイコン)
10 工場アイコン	345 人 (人アイコン)
5 工場アイコン	66 人 (人アイコン)
4 工場アイコン	46 人 (人アイコン)
3 工場アイコン	236 人 (人アイコン)
4 工場アイコン	329 人 (人アイコン)




















〔主な事業所の出荷額〕 (平成21年)

・金属製品	113億6,498万円	・生産用機械	7億8,792万円
・電気機械	4億3,677万円	・家具・装備品	8億5,114万円
・輸送機械	199億2,739万円	・プラスチック製品	101億4,293万円
・食料品	170億51万円		

●商 業● ————— いろいろなお店

町内には、食料品を売っている店、衣服や身の回りのものを売っている店、家具や建具を売っている店などが全部で196店あります。そして、そこで仕事をしている人は、951人です。1年間の販売額は約182億6,000万円です。(平成19年商業統計)

〔お店の数と働いている人の数〕

<small>てんぱ</small> 店舗  =10店		従業者  =50人	
83		いんしょくひん こ うりぎょう 飲食料品小売業	               

6

観光、文化財



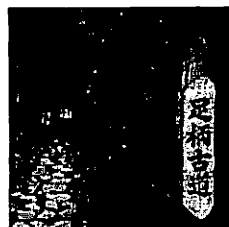
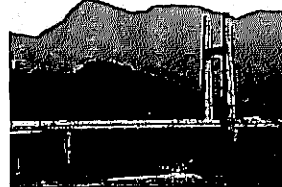
●観 光●

“富士とみどり清流のまち”といわれるように、ゆたかな自然にめぐまれ観光地がたくさんあります。その主なものを紹介します。



〔富士山〕 世界に名高いこの山は、海拔3,776メートルです。富士山の登り口は5か所あり、須走登山口もそのひとつで、7月と8月には五合目（海拔2,000メートル）までバスが運行しています。野鳥や高山植物の種類と数が多いことでも有名です。

〔金時山〕 金太郎が遊んだ山として有名です。箱根外輪山のなかで、もっとも高い山で海拔1,213メートルです。頂上には猪鼻神社や茶店などもあり、ハイキングとして登る人がたくさんいます。



〔足柄峠〕 小山町と神奈川県南足柄市との境にある峠で、海拔は759メートルです。この峠はたいへん歴史の古い峠で、足柄城址、聖天堂、関所跡、新羅三郎義光の笛吹き石などがあります。

〔富士スピードウェイ〕 大御神にあるこの施設は、広さ450万平方メートルで世界に誇るレーシング場です。ここで開催されたF1日本グランプリには、世界中から、およそ22万人もの人が集まりました。

〔富士霊園〕 大御神にある、広さ230万平方メートル、花と緑にあふれる、日本一広い公園墓地です。春、秋の彼岸をはじめ、1年を通じてたくさんの方がやってきます。特に、春には「日本さくら名所100選」にも選ばれたおよそ8,000本のサクラが咲きほこります。

〔道の駅〕 国道246号沿いの「ふじおやま」は平成16年11月に、国道138号沿いの「すばしり」は平成23年3月にオープンしました。ドライバーの休憩所として、また小山町の農産物やお土産を買う人たちで、とてもにぎわっています。

〔温泉〕 町営の温泉は、町民いこいの家の「あしがら温泉」があります。町民ばかりでなく、近隣の市町村からおおぜいの方が訪れます。

●イベント●

〔金太郎まつり〕 小山町は金太郎誕生の地です。力強く元気な子どもに育つことを願って、毎年5月3日に子ども会対抗の「子どもすもう大会・つなひき大会」などの金太郎春まつりが行われます。また、夏には、金太郎夏まつりが行われます。

〔足柄峠笛まつり〕 足柄峠につたわる“吹笙”の故事にちなんで、毎年9月の第2日曜日に行われます。笛の音が足柄峠にひびきます。

〔その他のイベント〕 富士山開山式・閉山式（7月1日・8月31日、須走登山口）、富士山一斉清掃、金時山・足柄峠DE初日の出（1月1日、金時山・足柄峠）、いろいろな自転車レース大会やマラソン大会。

●文化財●

昭和58年に足柄で横山遺跡の発掘調査が行われましたが、小山町にはほかにも古いものがたくさん残されています。昔から残っているものや、お城の跡、古い建物など、大切に残しておきたいものがたくさんあります。このほかにも、小山町独自の、価値の高いものなどもたくさんあります。こういうものを「文化財」といいます。小山町の主な文化財を紹介します。

〔国指定文化財〕

- ・特別名勝=富士山
- ・史跡=富士山(富士浅間神社などを含む)

〔国登録文化財〕

- ・国の登録有形文化財=豊門会館(旧和田豊治家住宅) 和館、洋館
豊門公園和田君遺徳碑 豊門公園正門 豊門公園西洋館(旧豊門青年学校)
豊門公園噴水泉 森村橋 松村家住宅主屋

〔静岡県指定文化財〕

- ・天然記念物=富士浅間神社のハルニレ 大胡田天神社のイチヨウ
上野のトチノキ 柳島八幡神社の二本スギ
- ・彫刻=宝鏡寺の木造地藏菩薩坐像

〔小山町指定文化財〕

- ・天然記念物=湯船八幡神社の夫婦スギ 上野神明社のツクバネガン
富士浅間神社のエゾヤマザクラ 富士浅間神社の根上りモミ
棚頭産神社のスギ 用沢八幡宮の三本スギ
- ・建造物=甘露寺宝篋印塔 嘉慶銘宝篋印塔 栗の木沢の唯念名号碑
栗の木沢の題目碑 富士浅間神社の社殿
- ・史跡=乗光寺大森六代之墓
- ・民俗=竹之下太鼓
- ・彫刻=坂下区十王堂地藏菩薩坐像 坂下区十王堂石仏
- ・絵画=坂下区十王堂十王図
- ・書跡、典籍、古文書=坂下区十王堂木食観正宝号軸

町のみなさんが安心してくらせるようにする仕事のことを、「治安の仕事」といいます。治安の仕事は、交通事故をなくす仕事、犯罪がおきないようにする仕事、火災がおきないようにする仕事などがあります。

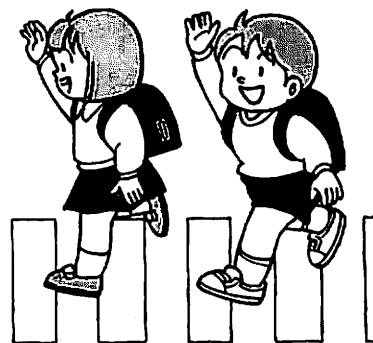
● 警 察 ●

小山町は、御殿場警察署の管かつにあります。町内には、小山交番、須走交番と、菅沼駐在所、北郷駐在所、足柄駐在所があり、みなさんの安全をまもっています。

〔交通事故〕

平成22年中に町内でおきた人身事故は102件、物損事故は495件でした。そして人身事故でなくなった人はいませんでしたが、ケガをした人は160人いました。

事故別 駐在所	人 身 事 故 (人がケガをした事故)	物 損 事 故 (人身事故以外の事故)
小 山 交 番	21	85
菅沼駐在所	8	39
足柄駐在所	15	44
北郷駐在所	21	138
須 走 交 番	37	189
計	102	495



〔犯 罪〕

平成22年中（暫定値）に町内でおきた犯罪は110件でした。内わけは凶悪犯が0件、窃盗犯が76件、粗暴犯が4件、知能犯が1件、風俗犯が1件、その他が28件でした。

メモ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

●消 防●

消防の仕事はとなりの御殿場市といっしょに行っています。また小山町には、
小山消防署、須走分署があり、いつでも消防車が火災の現場に行くことができます。

消防署員	45人
消防車	3台
救急車	2台
救助工作車	1台
指令車や作業車など	3台



〔消防団〕

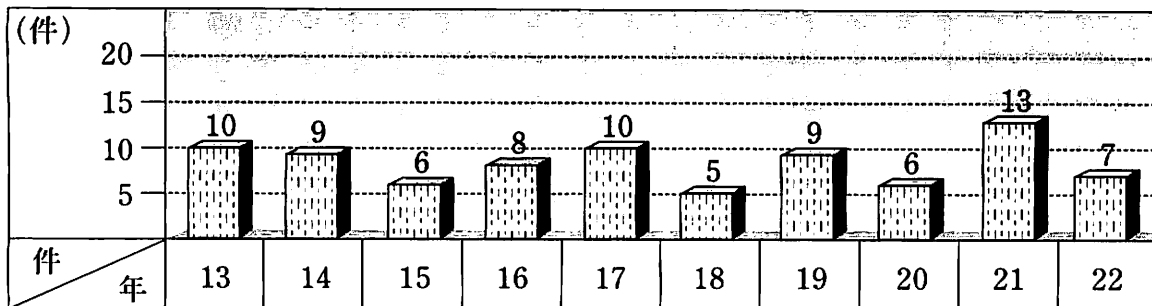
消防団は町の人々の奉仕で組織され、火災や台風などの災害にそなえています。

消防団数	7個分団	消防用ポンプ車	7台	消火栓	635か所
消防団員数	180人	可搬ポンプ	7台	防火水槽	190か所

〔火 災〕

平成22年中に町内でおきた火災は、全部で7件（このうち建物火災は5件）でした。
これによる損害額は2,682万5,000円でした。

〔過去10年間の火災件数〕



〔救急車の出動〕

内 容	交通事故	急 病	負傷など	運動でのケガ	そ の 他	合 計
出動回数	94	425	115	2	80	716

きれいな町の中で、みなさんが健康で暮らしていけるようにすることを「保健衛生」の仕事といたします。

●保健センター●

保健センターは健康福祉会館の中にあり、平成12年4月にできました。ここには、保健師、看護師、栄養士などがいて、健康診査や健康教室を行ったり、みなさんの家をまわって健康相談をしたりしています。赤ちゃんからお年寄りまで、みなさんの健康づくりの中心として活動しています。

●予防接種・健康診断●

みなさんが病気にかからないように、ワクチンを注射したり、赤ちゃんがじょうぶに育っているか、お医者さんにみてもらったり、健康診断などを行ったりしています。

●こどもの医療費助成●

みなさんが中学校を卒業するまでの間、病院でお医者さんにみてもらったり、薬をもらったりしたときにかかるお金を、町が負担します。

●公害●

町がよごれ、みなさんが住みにくくならないように、空気や水のよごれ、うるさい音が出ないか、いやなおいがでないかなどを調べています。

●ごみ●

毎日の生活の中からたくさんのごみができます。平成21年度中におよそ8,020トン（うち1,643トンは資源としてリサイクルされています）のごみが町の中から出ています。

●し尿処理●

家庭から出るし尿をそのままにしておくと、町じゅうに臭いにおいが広まって、大変困ります。そこで以前は埋立処理していたし尿を、御殿場市と小山町が共同で処理しようと、昭和51年4月に、御殿場市・小山町広域行政組合で衛生センターをつくり、そこで処理をするようになりました。この施設の1日の処理能力は、140キロリットルです。平成21年度中に、町から出た生し尿562キロリットル、単独浄化槽汚泥4,279キロリットル、合併浄化槽汚泥4,607キロリットル、計9,448キロリットルを処理しました。

9

くらしをとりまくもの ▶▶▶▶

●用途地域●

みなさんが生活していくためには、家、田んぼ、工場、商店など、いろいろなものが^{ひつよう}必要です。しかし、家のまわりに大きな音をだす工場などができると^{こま}困ります。また家の前に高い家ができたりすると、日があたらなくなるなど困ったことが出てきます。

こうしたことから、小山町が^{はってん}きまりよく発展していくためと、町のみなさんが、^{たが}お互いにめいわくにならずに楽しく暮らしていくために、「用途地域」というのが決まっています。

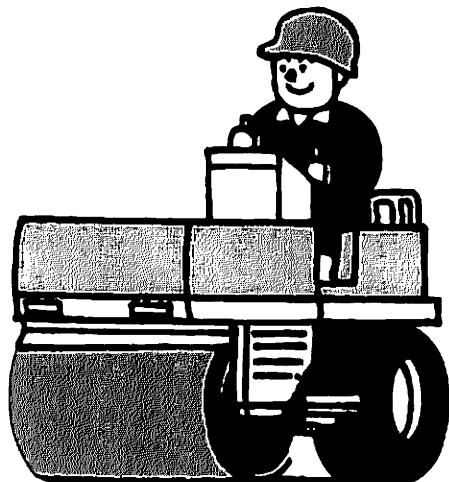
この用途地域は、「住宅にするところ」(^{しがいかくいき}市街化区域)、「工業地にするところ」など9つに分かれていて、それぞれ建てられる建物の大きさなどが決められています。

●道 路●

町で^{かんり}管理している道路は、^{ぜんぶ}全部で1,486^{ろせん}路線あります。この道路を全部つなげるとおよそ449キロメートルになります。この長さは、駿河小山^{でんしゃ}駅から^の電車に乗ると、^{きやうと}京都駅を少し^す過ぎたところまで行くほどの長さです。また、道路の面積はおよそ1.7平方キロメートルです。そして、町道のおよそ46.0%が^{ほそう}舗装されています。

このほか町には、国道が246号と138号の2路線、県道が、沼津小山線など8路線あります。

また町には、^{とうめいこうそくどうろ}東名高速道路(昭和44年^{かいつう}開通)が上下7車線およそ8.1キロメートル走っています。



●電 気●

町には須川、菅沼、生土の3つの^{すかわ}水力^{いさど}発電所^{すいりやく}があり、1年間に合計でおよそ4,700万キロワット時の電気を作っていて、これは1年間におよそ1万4,000軒の家で使う量になります。また上野には^{しんふじへんでんしょ}新富士変電所があり、発電所で作られた大きな電気を小さくして、工場や学校、家庭などに送っています。

●住 宅●

町の住宅の数をみるとつぎのようになっています。



自分の家	4,450 世帯
公営住宅	575 世帯
会社の住宅	674 世帯
他の人の住宅	705 世帯
間借り、寄宿舍など	20 世帯

(平成17年国勢調査)

●水 道●

水道には、町営の水道と民営の水道があります。

町営の水道を使っている人は、20,110人で、7,099軒の家や工場に、年間およそ379万立方メートルの水を供給しています。これは1人が1日におよそ516リットルの水を使っていることになります。10トンの大型トラック1杯分（10立方メートル）あたり363円ぐらいで、全国でも3番目に安い料金です。

町にはおいしくて安いたくさんの水がありますが、大切に使いたいものです。

●下 水 道●

台所や風呂、洗濯や水洗トイレなどを使った後の生活排水や、工場などで使った後の工場排水は、そのまま水に流すと、水質を悪くし、悪臭を発生させ、自然の環境を破壊してしまいます。そうした汚水を集めて処理し、きれいな水にして自然にもどすのが下水道です。町には、須走浄化センターがあります。

●鉄 道●

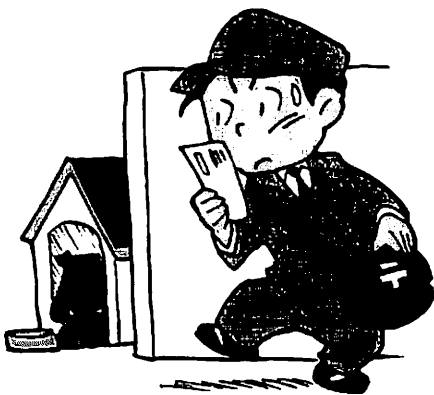
町にはJR東海の御殿場線が、8.9キロメートル通っていて、駿河小山駅と無人の足柄駅の2つの駅があります。

平成21年度の1年間に、駿河小山駅で電車に乗った人数は24万1,510人です。1日の平均では662人です。

●バ ス●

現在、町内を運行する路線バスは富士急行により運行されています。町内を走る路線は12路線で、平日は往路41本・復路42本、土・日曜日・祝日は往路36本、復路37本が運行されています。このバスを利用している人は、1年間およそ32万人です。

また、東名高速道路の高速バスは、JR東海バスとJRバス関東・JRバステックのバスが、1日上下あわせて平日は64本、金・土・日曜日・休日および休日の前日、4/28～5/5、8/10～16、12/28～1/5の間は70本が運行されています。さらに小田急箱根高速バスが、1日上下あわせて平日は59本（金曜日は61本）、土・日曜日・祝日は65本が運行されています。町には東名小山と東名足柄の2つのバス停があります。



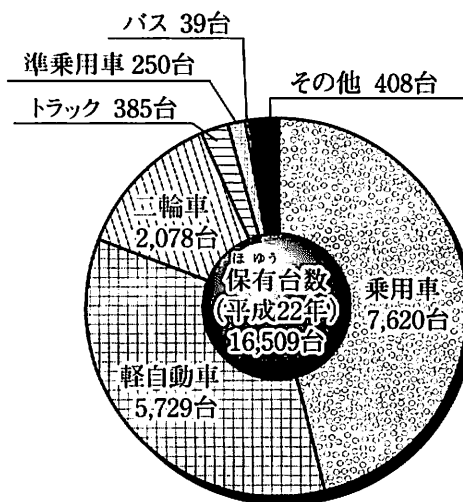
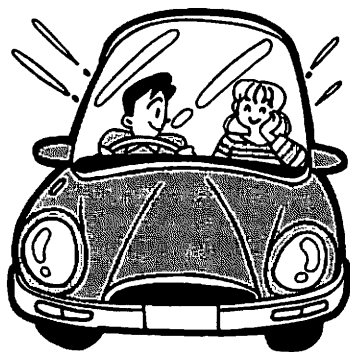
●^{ゆう}郵便^{びん}●

町には郵便局が6つと、ポストが45個あります。御殿場市・小山町管内で、平成22年中にみなさんが出した郵便は1日平均21,630通、配られた郵便は、1日平均9,209通でした。また、出した小包は1日平均196個、配られた小包は1日平均161個でした。

郵便のうち、年賀はがき（平成23年1月）は、みなさんが出したはがきがおよそ226万1,000通、配られたはがきがおよそ43万2,000通ありました。

●自動車●

町内には、乗用車7,620台、軽自動車5,729台、二輪車2,078台、トラック385台、準乗用車（ライトバンなど）250台、バス39台などの自動車があります。



(平成22年4月1日現在)

静岡県統計調査課

「平成22年 静岡県の自動車保有台数」より

メモ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

10 教育・文化 ▶▶▶▶

●学校教育●

町には、平成23年2月1日現在、中学校3校、小学校5校、幼稚園4園と県立高校が1校あります。

〔園児・児童・生徒の数〕

(平成23年2月1日現在)

学 校 名	学 級 数	園 児・児 童・生 徒 数			教 師 数	
		男	女	計		
小 学 校	成 美 小 学 校	6	107	79	180	14(2)
	明 倫 小 学 校	8	95	71	166	17(3)
	足 柄 小 学 校	6	50	71	121	12(1)
	北 郷 小 学 校	11	136	182	318	22(3)
	須 走 小 学 校	13	193	177	370	25(4)
	計	44	575	580	1,155	90(13)
中 学 校	小 山 中 学 校	11	140	141	281	23(1)
	北 郷 中 学 校	7	93	90	183	18(2)
	須 走 中 学 校	5	62	62	124	17(3)
	計	23	295	293	588	58(6)
幼 稚 園	駿 河 小 山 幼 稚 園	2	29	23	52	5(1)
	足 柄 幼 稚 園	2	19	11	30	5(2)
	北 郷 幼 稚 園	3	37	34	71	6(2)
	須 走 幼 稚 園	7	93	61	154	11(7)
	計	14	178	129	307	27(12)
合 計	86	1,048	1,002	2,050	175(31)	

※教師数の()内は、非常勤、特別支援などの先生の数

※平成22年4月に小山幼稚園と駿河幼稚園が統合され、駿河小山幼稚園になり幼稚園は4園となりました

●生涯学習●

町に住む人びとが、なかよく、明るく暮らすために、施設を利用していろいろな活動や勉強をしています。町では、総合文化会館、図書館、総合体育館、多目的広場、町民プールなどを管理して、みなさんの活動や勉強をやすくしています。また、みなさんが楽しんだり、勉強になるような催し物や教室を開いたりしています。

〔総合文化会館〕

町の文化活動の中心として、平成4年にできました。1,013席の大ホールのほか、多目的ホール、会議室、調理実習室、美術工芸室、集会和室などがあります。平成21年度に利用した人は114,876人でした。

〔図書館〕

総合文化会館に併設され、102,538冊の本や835本のビデオテープ、876枚のCDがあります。平成21年度に利用した人は30,790人で、72,841冊の貸し出しがありました。

〔総合体育館、小山球場、多目的広場、弓道場、小山道場〕

町のスポーツ活動の中心として、総合文化会館の近くにあります。小山球場には、グラウンドや780の観客席かんきやくがあります。多目的広場は、400mトラックをとることができるグラウンドで、おもにサッカーや陸上りくじょうなどのスポーツに利用されています。弓道場では、弓道の練習や試合しあいを行うことができます。総合体育館には、バレーボールやバスケットに利用できるアリーナ、トレーニング室、ジョギングコースなどがあります。小山道場は、柔道じゅうどうなどに利用できます。小山球場、多目的広場、弓道場は平成6年に、総合体育館は平成8年に、小山道場は平成9年にオープンしました。これらの総合体育施設を、平成21年度に利用した人は60,082人でした。

〔夜間照明施設・町民プールなど〕

小山中学校・北郷中学校・須走小学校のグラウンドには、夜でもスポーツができる照明設備せつびがあります。おもに、大人の人たちが春から秋にかけて、野球やソフトボールで利用しています。また、平成21年度に中島の金時公園にある町民プールを利用した人は2,373人でした。そのほか、町のいろいろなところにあるコミュニティ広場は、球技大会や、おじいさん、おばあさんのゲートボールなどに利用されています。

〔パークゴルフ場〕

パークゴルフ場は、平成15年に吉久保よしくぼにでき、町外からも多くの人を訪れます。平成21年度に利用した人は12,697人でした。

11 福祉 ▶▶▶▶

町に住む人びとが、みんな幸せに暮らせるようにするための仕事を、福祉の仕事といいます。福祉の仕事には、困っている人のおせわ、保育園の仕事、お年寄りや体が不自由な人のおせわなどがあります。

●健康福祉会館（ふじみセンター）●

健康福祉会館は、平成12年4月にできました。ふれあいルーム、交流ルームなどがあり福祉や健康づくりのために使われています。

●保育園●

お父さん、お母さんが仕事をしている家の0才児から5才児までの子どもを預かっています。町内には4つの保育園があります。

(平成23年2月1日現在)

園名	子どもの数	保育士 の数	調理員 の数
いきど保育園	62	11 (6)	2 (2)
すがぬま保育園	100	16 (9)	2 (1)
きたごう保育園	103	18 (10)	2 (1)
すばしり保育園	73	16 (10)	2 (1)
計	338	61 (35)	8 (5)



保育士・調理員の数()内は臨時職員数

●福祉の施設●

町内には保育園のほかに、老人ホーム、駿東学園、インマヌエル、徳風園などの福祉施設があります。

●社会福祉協議会●

困っている人や、体の不自由な人のおせわをするには、町のみなさんが力を合わせる必要があります。そのために、社会福祉協議会がつくられ、みなさんの温かい心で人のためになる活動が行われています。

メモ

.....

.....

.....

.....

12 町のしくみと仕事 ▶▶▶▶

町のしくみ

●町長(執行機関)●

町長は町を代表する最高責任者で、町の仕事のまとめをしたり、国や県からまかされた仕事のまとめをしたりしています。

●職員(補助機関)●

職員は、町の仕事や国などからまかされた仕事をしています。平成23年3月1日現在、223人の職員が町のために働いています。町民およそ92人に1人の割合です。

●議会(議決機関)●

議会は町長から出された予算や町づくりの計画、町のきまり(条例)などの提案に意見をのべたり、町の仕事の方針を決めたりしていくところです。町民の代表である議員は平成23年3月1日現在15人(定数15人)です。

町の仕事

町はどんな仕事をしているのでしょうか。町の仕事については、つぎに出てくる「平成23年度の予算」をみると、だいたいわかりますが、ここではみなさんと町との関係について話をしてみましよう。

みなさんと町のつながりは、みなさんがお母さんのおなかの中にいたときからもう始まっています。

赤ちゃんが産まれるという届け(母子手帳の申請)を出して、じょうぶな赤ちゃんが産まれるように、お母さんと町とが協力します。

それから、乳幼児健診、予防注射、保育園、幼稚園、小学校、中学校、また道路、公園、山、川、田畑など、みなさんのまわりのものすべてが、町と深い関係にあります。

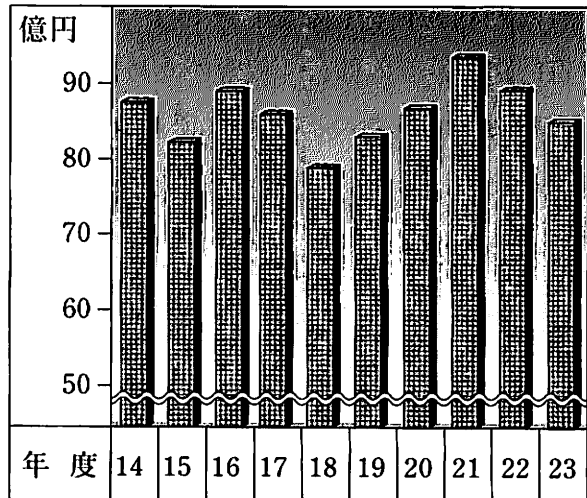
みなさんが明るく楽しく、安心してくらししていける町をつくること、それが町の仕事です。

13 予 算 ▶▶▶▶

町には、「^{しょうらい}将来小山町をこういう町にしたい」という計画があります。そして、この計画をもとに、道路を舗装するとこれくらいのお金がかかる、学校が古くなってきたから建て直しをしたいけれど、これくらいのお金がかかるなど、たくさんの計画にどのくらいのお金がかかるかという予算をたてます。この「予算」とは、1年間に行う仕事とお金をあらかじめ決めておくというものです。

平成23年度の一般会計^{かいけい}予算は、85億3,000万円で、平成22年度より3億8,000万円へっています。

当初^{とうしょ}予算のうつりかわり



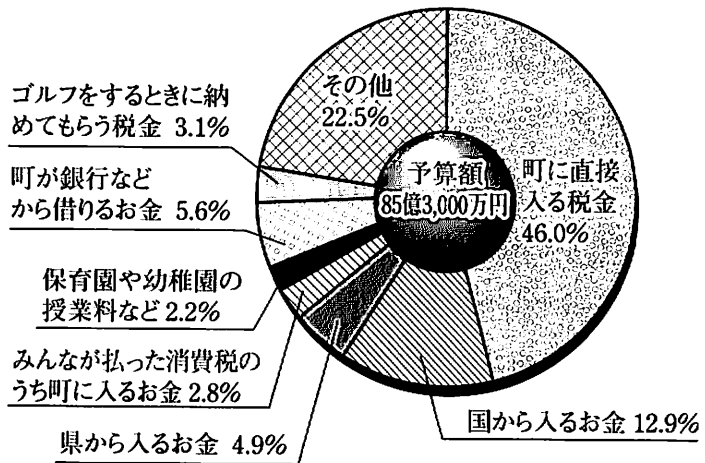
町に入るお金 (歳入)^{さいにゅう}

町に入るお金を「歳入」といいます。町に住んでいる人や、町にある工場などから出してもら^{ぜいきん}う税金を「町税^{ちやうぜい}」といいます。

この町税は、39億2,196万6,000円で、歳入全体の46.0%です。

このほか、国や県から入るお金（国庫支出金・県支出金・^{こくこししゆつぎん}地方消費税交付金^{ちほうしょうひぜいこうふぎん}）、みなさんのお父さんなどがゴルフをするときに納めてもらう税金（ゴルフ場利用税交付金）、保育園や幼稚園の授業料（使用料・手数料）など、いろいろな歳入があります。

歳入



町が使うお金（歳出）

町が使うお金のことを「歳出」といいます。歳出は、2つの見方があります。それは、性質別と目的別です。

性質別というのは、「町の道路や建物を作るために使うお金」、「職員や議員の給料など払うお金」など、どのようにお金を使うか区別したものです。

目的別というのは、「教育のために使うお金」、「福祉のために使うお金」、「産業を盛んにするために使うお金」など、何のために使うか区別したものです。

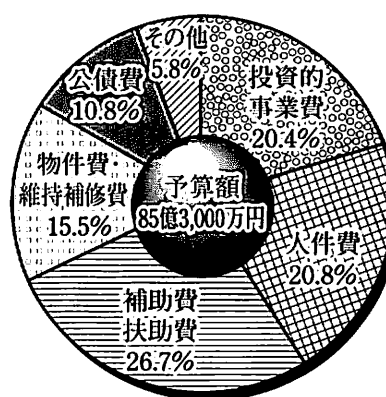
●性質別歳出●

投資的経費 = 町道を作ったり、改良したり、交通

安全のための施設などを作ります。

また、保育園や幼稚園、学校をよくしたり、山や川を改良したりします。このように、町の建物などを作ったり、治したりすることに使うお金を投資的経費といいます。このお金は、17億4,243万1,000円です。

性質別歳出の内訳



人件費 = 役場や保育園・幼稚園・学校などで、たくさんの町の職員が働いています。この職員に払う給料や、議員など町の仕事をしてくれる人たちに払うお金を人件費といいます。このお金は、18億7,789万1,000円です。

扶助費、補助費 = みなさんが病院にかかったときなどにお金をたくさん払わなくていいように、また、生活に困っている人を助けることに使うお金を扶助費といいます。また、町に関係のある団体や会を援助するお金を補助費といいます。このお金は、22億7,789万5,000円です。

物件費、維持補修費 = 役場や保育園・幼稚園・学校などで仕事をするために必要な物を買うお金を物件費といい、建物を管理するために使うお金を維持補修費といいます。このお金は、13億1,901万5,000円です。

公債費 = 大きな建物などを作るときに、国や県、銀行などから借りたお金を「何回かに分けて返すお金」を公債費といいます。このお金は、9億1,838万8,000円です。

その他 = これら5つ以外のことに使うお金は、4億9,438万円です。

●目的別歳出●

目的別歳出について見てみましょう。

議会費＝議会のために使うお金です。議員が勉強するためや会議に出てくるための給料などです。予算は1億2,290万円です。

総務費＝選挙など町の事務的なものや、町づくりのために使うお金です。予算は、11億7,966万2,000円です。

民生費＝保育園や老人ホームでのお世話に使うお金や、生活に困った人を助けるお金、お年よりの病気のために使うお金など、みなさんが安心してくらするように使うお金です。予算は20億2,488万7,000円です。

衛生費＝みなさんが病気にならないように予防接種をしたり、健康診断をしたりします。また、みなさんの家から出るごみをかたづけます。このように健康できれいな町にするために使うお金です。予算は10億9,392万5,000円です。

農林水産業費＝田んぼや畑から、たくさんのお米や野菜ができるように、農業用の道路や水路、田んぼなどを改良したり、林道の整備をしたりするために使うお金です。予算は1億7,954万円です。

商工費＝商店や工場が栄えるように使うお金です。また、町にたくさんある観光地をさらによくし、みなさんがたくさん遊びに来てくれるように宣伝するために使うお金です。予算は2億6,976万8,000円です。

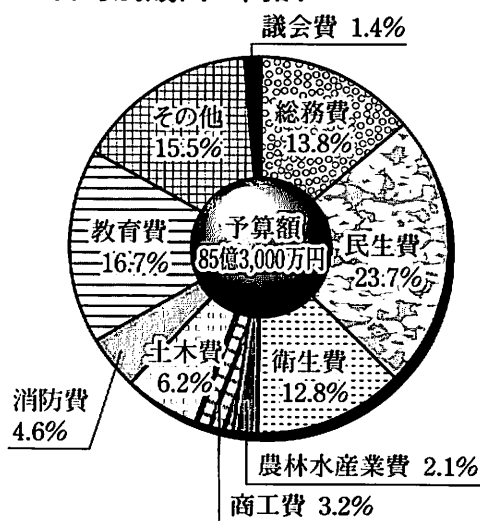
土木費＝町内の道路を作ったり舗装をしたりします。また川をよくし、災害から守ります。ガケやあぶないところを直したり、町営住宅を直したりするために使うお金です。予算は5億2,627万円です。

消防費＝消防署・消防団の仕事や、火事が起きたときに使う消火栓や防火水槽をつくったり、地震が起きたとき、困らないように準備するために使うお金です。予算は3億9,339万円です。

教育費＝小学校・中学校・幼稚園などの施設をよくしたり、勉強の道具を買ったりして、みなさんがよく勉強できるように使うお金です。予算は14億2,644万1,000円です。

その他＝これら9つ以外のことに使うお金は、13億1,321万7,000円です。

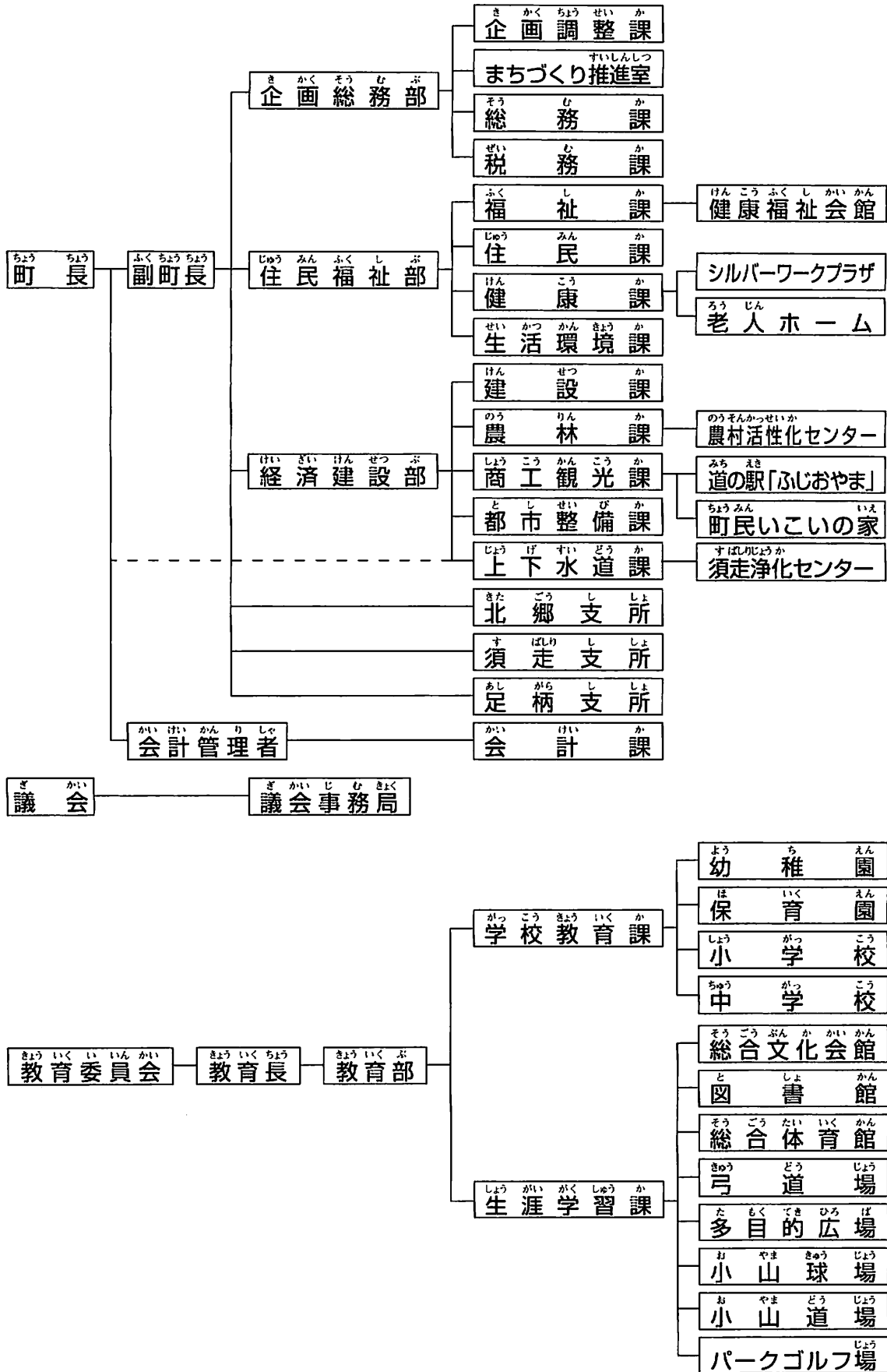
目的別歳出の内訳



町のしくみ

お やま ちょう ぎょう せい き こう ず

小山町行政機構図 (平成23年4月1日現在)





ちょうしやう
◎町章(町のマーク)

昭和45年1月1日に町章として決めました。
小山町の頭文字のOを基にして富士山と山に囲まれた緑の小山町をあらわしていて、力強さと団結、希望、勇気をあらわしています。

富士のあるまち

- ◎発行日／平成23年4月
- ◎内 容／町のようす
町のしごと
- ◎発行者／静岡県小山町
- ◎編 集／企画調整課
- ◎印 刷／イワタオフィス

小山町民 憲章

(昭和57年12月5日制定)

わたくしたちは、富士のもと
水と緑にめぐまれていようと誇りをもち、
金太郎のようた、健康で、明るく、
ゆたかな町づくりをすすめます。

一、めぐまれた自然を愛し、

美しいまちをへります。

一、きまりを守り、安全で、

住みよいまちをへります。

一、のびゆく力を育て、

文化の薫り高きまちをへります。

一、働くことによるこびをもち、

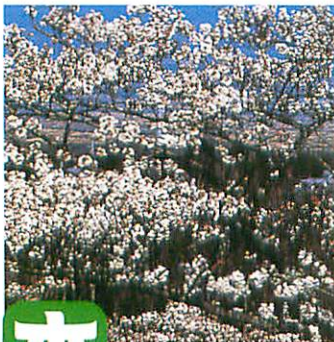
健康なまちをへります。

一、たがいに助け合い、親切で、

あたたかいまちをへります。

町の木・花・鳥

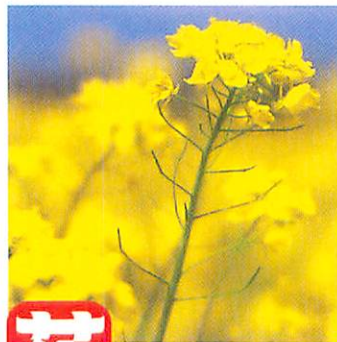
(昭和57年8月1日制定)



木

ふじ桜

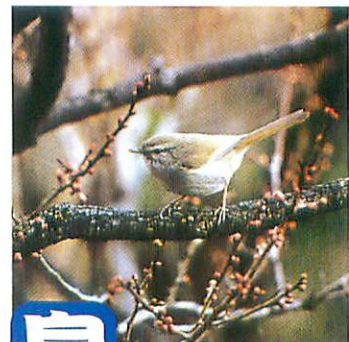
バラ科。木の高さは3~4mで、
まめ桜とも呼ばれています。
品種が多く、葉も小さくて若木
でもよく花をつけるので、盆栽
に適しています。富士山麓に多
く自生しています。



花

菜の花

アブラナ科。富士山の温かくき
れいな伏流水で冬を越し、3~
4月に黄色い花を開きます。
開花する前の柔らかいとうは、
特産物水掛け菜(漬物)として
全国的に有名です。



鳥

うぐいす

ヒタキ科・ウグイス亜科。雀よ
りやや小さい鳥で春告鳥とも呼
ばれています。「法々華経」と
鳴き古来から親しまれています。
富士山麓、特に須走に多く生息
しています。